

日本語教授法Ⅰ

2単位 (選択) 2年 (前期)

日本語教授法Ⅰ

大石 寧子・教授/国際センター

【授業目的】 外国語教育としての日本語教育とは何かを追究する。その中で、日本語を教えるための知識、方法及び技術を修得することを目的とする。

【授業概要】 日本語を教えるための方法を関わる者全ての視点から理解する

【キーワード】 言語教育, 学習ストラテジー, コースデザイン

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 課題解決型の講義のため、出席と授業態度を重視する。

【到達目標】 日本語教師を目指す者として、様々な教授法や教育的な関わりを理解する。さらに教育を実施する側の学習者への働きかけについても、実際に日本語を学ぶ人たちを交えて検討する。

【授業計画】

1. 日本語教育の歴史
2. 日本語教育の担うもの
3. 日本語を学ぶ環境 異文化コミュニケーション
4. 様々な教授法①
5. 様々な教授法②
6. 様々な教授法③
7. 様々な教授法④
8. 様々な教授法⑤
9. 様々な教授法⑥
10. 様々な教授法⑦
11. 評価の目的
12. 評価の方法
13. 授業見学①
14. 授業見学②
15. 日本語教育とは
16. 総括授業 まとめ

【成績評価】 出席及び毎回の講義内でのタスクさらに最終課題を評価する。

【再試験】 無

【教科書】 授業初日に指示

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218926>

【連絡先】

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば、他の曜日・時間でも対応します)

Target) 外国語教育としての日本語教育とは何かを追究する。その中で、日本語を教えるための知識、方法及び技術を修得することを目的とする。

Outline) 日本語を教えるための方法を関わる者全ての視点から理解する

Keyword) 言語教育, 学習ストラテジー, コースデザイン

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 課題解決型の講義のため、出席と授業態度を重視する。

Goal) 日本語教師を目指す者として、様々な教授法や教育的な関わりを理解する。さらに教育を実施する側の学習者への働きかけについても、実際に日本語を学ぶ人たちを交えて検討する。

Schedule)

1. 日本語教育の歴史
2. 日本語教育の担うもの
3. 日本語を学ぶ環境 異文化コミュニケーション
4. 様々な教授法①
5. 様々な教授法②
6. 様々な教授法③
7. 様々な教授法④
8. 様々な教授法⑤
9. 様々な教授法⑥
10. 様々な教授法⑦
11. 評価の目的
12. 評価の方法
13. 授業見学①
14. 授業見学②
15. 日本語教育とは
16. 総括授業 まとめ

Evaluation Criteria) 出席及び毎回の講義内でのタスクさらに最終課題を評価する。

Re-evaluation) 無

Textbook) 授業初日に指示

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218926>

Contact)

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば、他の曜日・時間でも対応します)